

生活援助技術論Ⅱ（清潔・排泄の援助技術）

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 小林 由美子 講師		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	1	区分・時間数	講義 6 時間 演習 16.5 時間
期間	後期		
単位数	1 単位		

・学修方針（講義概要等）

健康的な日常生活行動を促進するための清潔を援助する技術・排泄を促す技術について、講義と演習を通して学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

実施する看護技術（清潔・排泄の援助技術）の原理・原則を理解し、援助実施の際には相手を尊重し、安全安楽な援助方法を考え実践できるようになる。授業内容の理解、演習への積極的な参加、主体的な自己学修（視聴覚教材の利用を含む）を通してその方法を身に付けることができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1,2,3,4

・到達目標（SBO）

1. 清潔の意義と援助の目的を説明できる。
2. 入浴の意義と身体への影響、入浴援助の方法を説明できる。
3. 清拭の方法と留意点を説明できる。
4. 相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた清拭を実施できる。
5. 足浴の方法と留意点を説明できる。
6. 相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた、足浴を実施できる。
7. 洗髪の目的・方法・留意点を説明できる。
8. 相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた洗髪を実施できる。
9. 休息・睡眠の意義とメカニズム、その援助について説明できる。
10. 整容の目的・方法・留意点を説明できる。
11. 衣服の意義と寝衣交換の目的・方法・留意点について説明できる。
12. 排尿・排便の意義とそのしくみを説明できる。
13. 様々な状況に応じた排泄援助の方法と留意点を説明できる。
14. 相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた陰部洗浄とおむつ交換が実施できる。
15. 相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた自然排尿・排便への援助が実施できる。
16. これまで学んできた看護技術の中から患者の状態に合わせた援助方法を選択し、実施することができる。
17. 演習で経験する技術修得に向けて主体的に行動することができる。

・授業日程

(矢) 西 1-A 講義室、(矢) マルチ 4-A 講義室
(矢) マルチ 2-A 実習室、(矢) マルチ 2-B 実習室

【講義】

月日 (曜) 時限	講座(学科) 担当教員	授業内容/到達目標
9/8 (金) 2限	共通基盤看護学講座 柏木ゆきえ 特任准教授	<p>身体の清潔を援助する技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清潔の意義と援助の目的を説明できる ・入浴の意義と身体への影響、入浴援助の方法を説明できる <p>【事前学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 p256～286 身体の清潔を援助する技術について読んでくる <p>【事後学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義資料を復習する
9/12 (火) 2限	共通基盤看護学講座 柏木ゆきえ 特任准教授	<p>身体の清潔を援助する技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服の意義と寝衣交換の目的・方法・留意点について説明できる <p>【事前学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 p256～286 身体の清潔を援助する技術について読んでくる <p>【事後学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義資料を復習する
9/15 (金) 2限	共通基盤看護学講座 小林 由美子 講師	<p>排泄を促す技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排尿・排便の意義とそのしくみを説明できる ・様々な状況に応じた排泄援助の方法と留意点を説明できる <p>【事前学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 p176～178 排尿・排便の意義と生理的メカニズムについて読んでくる <p>【事後学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義資料を復習する
10/16 (月) 3限	共通基盤看護学講座 小林 由美子 講師	<p>身体の清潔を援助する技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洗髪の目的・方法・留意点を説明できる ・整容の目的・方法・留意点を説明できる <p>休息・睡眠を促す技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休息・睡眠の意義とメカニズム、その援助について説明できる <p>【事前学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 p266 整容、p272～275 洗髪について読んでくる ・教科書 p240～253 休息・睡眠を促す技術について読んでくる <p>【事後学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義資料を復習する

【演習】

月日 (曜) 時限	講座(学科) 担当教員	授業内容/到達目標
9/22 (金) 1限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	<p>身体の清潔を援助する技術（清拭）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清拭の方法と留意点を説明できる ・相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた清拭を実施できる <p>【事前学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WebClass に提示された、全身清拭（寝衣交換含む）の動画を視聴する <p>【事後学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習終了後、実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する
9/22 (金) 2限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	<p>身体の清潔を援助する技術（寝衣交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清拭の方法と留意点を説明できる ・相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた清拭を実施できる <p>【事前学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WebClass に提示された、全身清拭（寝衣交換含む）の動画を視聴する <p>【事後学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習終了後、実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する
9/26 (火) 1限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	<p>排泄を促す技術（陰部洗浄）（おむつ交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた陰部洗浄とおむつ交換が実施できる <p>【事前学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に配布したチェックリストを読んでくること ・WebClass に掲載した「陰部洗浄とおむつ交換」の動画を視聴していくこと <p>【事後学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習終了後、実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する
9/26 (火) 2限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	<p>排泄を促す技術（陰部洗浄）（おむつ交換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた陰部洗浄とおむつ交換が実施できる <p>【事前学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に配布したチェックリストを読んでくること ・WebClass に掲載した「陰部洗浄とおむつ交換」の動画を視聴していくこと <p>【事後学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習終了後、実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する
9/27 (水) 1限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	<p>身体の清潔を援助する技術（足浴）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足浴の方法と留意点を説明できる ・相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた足浴を実施できる <p>【事前学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディカ AR を用いて教科書 p273 「足浴」を視聴していくこと <p>【事後学修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習終了後、実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する

10/20 (金) 2限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ特任准教授 小林 由美子 講師	排泄を促す技術（尿器・便器）（グリセリン浣腸） ・相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた自然排尿・排便への援助の実施できる 【事前学修】 ・事前に配布したチェックリストを読んでくること 【事後学修】 ・演習終了後、実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する
10/20 (金) 3限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ特任准教授 小林 由美子 講師	身体の清潔を援助する技術（洗髪） ・相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた洗髪を実施できる 【事前学修】 ・事前に配布したチェックリストを読んでくること ・講義で説明した Web Class の動画を視聴して演習に臨むこと 【事後学修】 ・演習終了後、実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する
10/20 (金) 4限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ特任准教授 小林 由美子 講師	身体の清潔を援助する技術（洗髪） ・相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた洗髪を実施できる 【事前学修】 ・事前に配布したチェックリストを読んでくること ・講義で説明した Web Class の動画を視聴して演習に臨むこと 【事後学修】 ・演習終了後、実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する
10/27 (金) 2限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ特任准教授 小林 由美子 講師	技術到達度の確認 ・これまで学んできた看護技術の中から、患者の状態に合わせた援助方法を選択し、実施することができる 【事前学修】 ・指示された課題の自主練習を行う 【事後学修】 ・フィードバックされた内容を見直す
10/27 (金) 3限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ特任准教授 小林 由美子 講師	技術到達度の確認 ・これまで学んできた看護技術の中から、患者の状態に合わせた援助方法を選択し、実施することができる
10/27 (金) 4限	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ特任准教授 小林 由美子 講師	技術到達度の確認 ・これまで学んできた看護技術の中から、患者の状態に合わせた援助方法を選択し、実施することができる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ看護実践のための援助技術 第1版	松尾ミヨ子 城生弘美 習田明裕 金壽子 編集	メディカ出版	2022
参	看護がみえる vol.1 基礎看護技術 第1版	医療情報科学研究所 編集	MEDIC MEDIA	2018

参	根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術 第3版	任和子 井川順子編集	医学書院	2021
---	---------------------------	------------	------	------

・成績評価方法

筆記試験 70 点、（多肢選択、穴埋めと記述）、技術到達度の確認・演習への取り組み 30 点の合計 100 点とする

*技術到達度の確認は評価表に基づき評価する（配点 30 点）

*演習への取り組みは、以下の内容とする

- ・演習前の事前課題・事後課題の記載内容の不足は、1回につき 1 点減点。
- ・最終期限までに課題の未提出がある場合、1回につき 3 点減点。
- ・演習では援助者として必要な身だしなみの準備（指定した服装、爪を短く切る、髪をまとめる、上履きあるいはナースシューズの準備、名札を着用する等）が必要となるため、演習時に数回にわたりチェック表を用いて確認する。指導後も 4 回以上不適切な準備が見られた場合は 3 点減点。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

- ・シラバスに記載されている授業内容および到達目標を確認し、予習した上で授業に臨むこと。
- ・本科目での指定の教科書だけでなく、解剖生理学など広く授業内容に関連した教科書の章を事前に読んで参加すること。
- ・演習開始前には、関連する教科書の章および配布資料を読む、“e ナーストレーナーの動画”または、“WebClass にあげた動画”の視聴覚教材を視聴するなど、イメージトレーニングを行って、学修のポイントを理解した上で参加すること。また、各回で予習復習を目的とした学修課題が提示されるため、その課題に取り組むこと。
- ・各授業について、最低 30 分以上の事前学修を要する。
- ・看護技術の修得は、繰り返し実施することが必要なため、授業終了後も主体的に技術練習を行い、自己学修を重ねて知識と実技の定着に努めること。
- ・授業時間を有効に使用するために演習時は物品片付けで授業時間外になることがある。
- ・演習の準備と片付けに主体的に参加すること。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

- ・レポート等の課題は、適宜コメントし返却する。
- ・技術到達度の評価は評価表に基づき評価し、学生にフィードバックする。
- ・演習後の質問の回答、課題の解説を WebClass に掲載するので、確認すること。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：専門分野 基礎看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートパソコン (DELL New Inspiron 15(5515))	1	講義
演習	万能型看護実習モデル “八重”	12	清拭・洗髪・陰部洗浄

演習	清拭車、タオルウォーマー	2	清拭
演習	洗髪車	2	洗髪
演習	尿器	12	排泄
演習	便器	12	排泄